

【租税教室】

10月17日（木）、3年生を対象に「租税教室」を実施しました。太田税務署と関東信越税理士会から講師を招き、税金の種類や使い道、税務署の役割などについてより専門的な見地から講義をしていただきました。また、1億円のレプリカを実際に持ち、その重さを実感するといった体験も行いました。

参加した生徒からは、社会保障の重要性和健康でいることの大切さや税金をしっかりと納めなければならないことなどの感想が述べられ、税金に対する理解を深めることができました。



税金の仕組みを学ぶ様子



1億円のレプリカで重みを体験

【思春期講座】

10月23日（水）に、1学年を対象に、サポートうぶごえの長谷川知香子先生を講師に招き「思春期講座」を実施しました。

先生の助産師としての経験や思春期の心と身体、異性との関わり方について講演していただきました。講座を通して生徒たちは、性に対して前向きなものとして捉えることができ、恥ずかしがらず正しい知識を得ることの大切さについて学ぶことができました。



長谷川先生から思春期について学ぶ



～小室佳月さん(1-1)より～

私は、今回の思春期講座で命の大切さについて学ぶことができました。また、自分を生んでくれた母に対して、感謝の気持ちがさらに強まりました。感謝の気持ちを込めて、自分ができることをしていきたいと思いました。

【行政相談出前講座】

10月25日（金）、常陸大宮市担当行政相談委員4名、茨城行政監視行政相談センターから2名の6名の方に講師に招き、3年生を対象に「行政相談出前教室」を実施しました。

生徒が地域の環境や問題点について知り、地域をよくするための方法を考えるよい機会となりました。



ワークショップの様子



グループ代表による改善策の発表

～平塚龍さん(3-1)より～

「よりよい社会づくり」の行政相談では、地域に住んでいるからこそ出てくる危険なところ、直して欲しいところが多くあることがわかりました。また、「地域活性化・地方創生」としての町づくりでは、私の考えの甘さを痛感させられ、もっと学ばなければならないと考えさせられました。